



人を惹きつける元気なまちをつくる

「住みつづきたい、住んでみたいまち」をつくる

★「ふるさと福岡県 応援基金」を設置

▶▶▶ 1億円

「ふるさとのために貢献したい」という気持ちにいつでも応えられるよう、ふるさと納税を積み立てるための基金を設置

★ ITスタートアップ創出拠点

「e-ZUKA TECH GUILD(仮称)」を設置



▶▶▶ 2,459万円

・飯塚研究開発センターに、IT技術を活用して企業が抱える課題にチャレンジする拠点を開設
・ビジネスプランコンテストを開催し、起業を目指す学生・研究者を支援

「文化芸術」の力で、人とまちを元気にする

★「福岡県文化芸術振興基金」を設置

▶▶▶ 48億4,136万円

世界水準の芸術の誘致や、これからの福岡県の文化芸術を担う人材育成などに活用

★「福岡県アーツカウンシル(仮称)」 設立に向けた準備

▶▶▶ 5,527万円

・文化芸術活動の担い手を専門的・長期的に育成・支援する組織の設立準備
・若手芸術家の活動(国内でのステップアップや海外でのチャレンジなど)に対する支援

★ 新県立美術館の建設に着工

▶▶▶ 65億2,270万円

開館予定: 令和11年度 場所: 大濠公園南側



©株式会社隈研吾建築都市設計事務所
〈新県立美術館の完成イメージ〉

「スポーツ」の力で、人とまちを元気にする

★ インターナショナル トレーニングセンターの開設

▶▶▶ 1億7,323万円

海外選手の招聘・育成や海外選手との交流による県内アスリートの強化・育成を図るため、アクション福岡を改修する基本計画の策定、基本・実施設計を実施



〈アクション福岡〉

★「アジア男子バレーボール選手権大会 福岡2026」を開催

▶▶▶ 1,728万円

・スポーツへの関心を高め、バレーボールの競技者とファンを増やすため、大会に小学生を無料で招待
・中学校・高校において、県内トップアスリートによる出張バレーボール教室を開催
・国内外からの来場者に本県の農林水産物、観光地、ワンヘルスの取り組みをPR

県民の「健康」づくりを推進

★ 血圧測定 の習慣化を推進

▶▶▶ 3,675万円

生活習慣病予防のための継続的な血圧測定の必要性を、市町村や企業と連携するとともに「ふくおか健康ポイントアプリ」を活用して普及

★ 認知機能低下の 早期発見・早期予防を推進

▶▶▶ 806万円

・VRや視線追跡技術など新たな技術を活用した検査や、運動と栄養指導などを組み合わせた新たな知見による予防プログラムに取り組む市町村を支援
・認知機能低下の早期発見・早期予防の重要性を啓発する県民向け講演会を開催